

『Mi-AN (みーあん)』

No.4



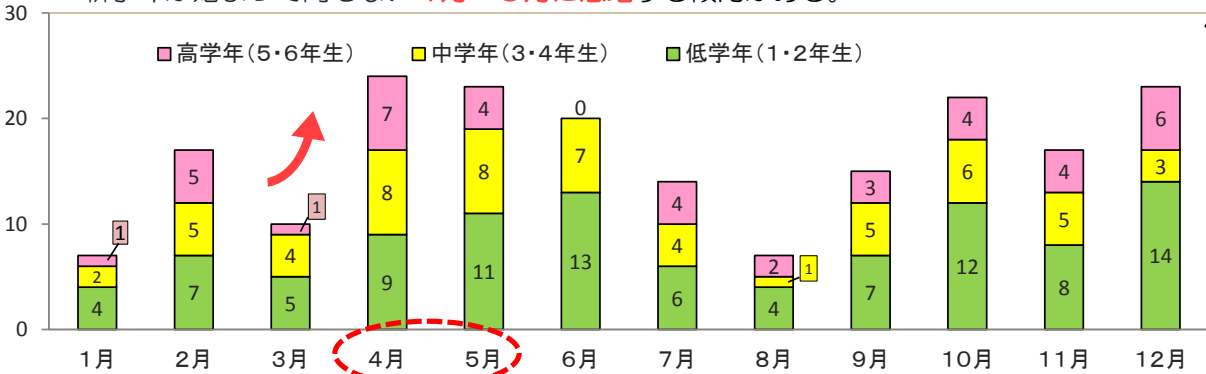
小学生の交通事故の特徴 (歩行者編)

小学生の歩行中の交通事故発生状況 (三重県内・H27～R1)



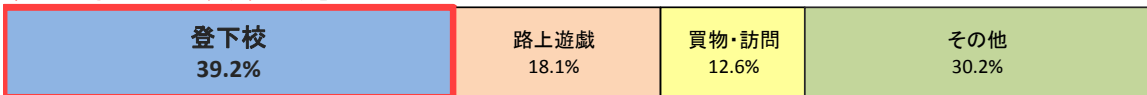
● 月別死傷者数の推移

(人) 新学年が始まって間もない4月・5月に急増する傾向がある。



● 通行目的別

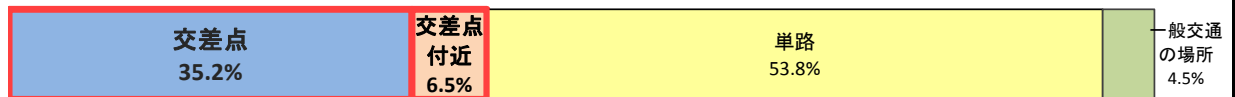
約4割が登下校中に発生！！



※ その他は、スポーツや散歩等をいいます。

● 道路形状別

約4割は交差点(交差点付近を含む)で発生！！



※ 交差点付近は、交差点から30m以内をいいます。また、一般交通の場所とは、駐車場等をいいます。

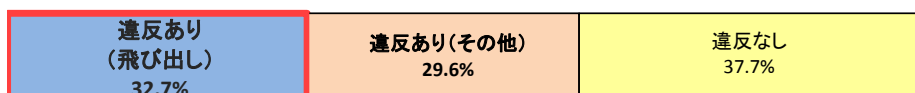
● 自宅からの距離別

約6割が自宅から500メートル以下の身近なところで発生！！



● 違反の有無別

約6割に何らかの違反があり！違反の約3割は飛び出しです。



※ 違反あり(その他)の主な違反は、横断歩道外横断や車両の直前・直後横断、路上遊戯等です。

「まもってくれてありがとう運動」推進中！！

三重県警察では、信号機のない横断歩道における車両の一時停止率を向上させ、子供たちが安全に横断歩道を横断できるよう、横断を終えた子供がドライバーに御礼を言う「まもってくれてありがとう運動」を推進しています。

子供たちが御礼を言う姿を見て、ドライバーはルールを守る重要性を再認識し、交通安全意識の高揚に効果が期待できます。また、将来ドライバーになる子供については、大人がルールを守り、横断歩道の安全が確保されることに安心と感謝をすることで、正しい交通ルールが身につくことを期待しています。

(参考：令和元年中の三重県内の停止率の平均値20.7% ※三重県警察調べ)